



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月11日

上場会社名 東ソー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4042 URL https://www.tosoh.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 寿宣
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営管理室長 (氏名) 米澤 啓 (TEL) 03-5427-5123
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月4日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	732,850	△6.8	87,819	7.5	95,138	10.7	63,276	13.9
2020年3月期	786,083	△8.7	81,658	△22.8	85,963	△23.9	55,550	△28.9

(注) 包括利益 2021年3月期 80,834百万円(64.9%) 2020年3月期 49,011百万円(△31.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	197.89	197.75	10.7	10.2	12.0
2020年3月期	171.03	170.88	10.0	9.7	10.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 1,271百万円 2020年3月期 1,343百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	982,776	661,679	62.6	1,934.86
2020年3月期	886,591	609,660	64.0	1,747.19

(参考) 自己資本 2021年3月期 615,570百万円 2020年3月期 567,546百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	95,106	△46,352	1,585	148,397
2020年3月期	99,923	△70,335	△23,964	97,235

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00	18,192	32.7	3.3
2021年3月期	—	28.00	—	32.00	60.00	19,091	30.3	3.3
2022年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00		31.8	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	400,000	21.8	47,000	166.4	45,000	150.4	29,000	147.6	91.15
通期	800,000	9.2	93,000	5.9	92,000	△3.3	60,000	△5.2	188.59

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	325,080,956株	2020年3月期	325,080,956株
② 期末自己株式数	2021年3月期	6,934,001株	2020年3月期	247,155株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	319,751,625株	2020年3月期	324,805,443株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	489,073	△7.2	60,796	10.0	71,444	12.6	51,596	12.8
2020年3月期	526,945	△12.1	55,250	△26.8	63,456	△26.7	45,761	△28.5
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	161.35		161.23					
2020年3月期	140.87		140.75					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年3月期	662,835		485,894		73.3	1,526.43		
2020年3月期	593,832		454,773		76.5	1,399.04		

(参考) 自己資本 2021年3月期 485,680百万円 2020年3月期 454,502百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項等は、添付資料の4ページをご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算説明資料を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 連結貸借対照表	P. 5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 7
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12
(連結貸借対照表関係)	P. 12
(連結株主資本等変動計算書関係)	P. 12
(セグメント情報等)	P. 13
(1株当たり情報)	P. 17
4. 役員の異動	P. 18
5. 補足情報	P. 20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により社会・経済活動が制限され、内外需要が急速に冷え込みました。夏以降徐々に経済活動が上向き動きが見られましたが、足元では変異種による感染が全国各地に広まるなど、景気の先行きは引き続き不透明な状況となっております。世界経済においても、新型コロナウイルス感染症は各国の社会・経済に甚大な被害をもたらしました。ワクチン接種の進展により、先進国を中心に経済活動の回復が見られるものの、世界経済の見通しについても依然予断を許さない状況が続いております。

このような情勢下、当社グループの連結業績については、売上高は、ナフサ等の原燃料価格及び海外製品市況の下落による販売価格の下落により、7,329億円と前期に比べ532億円(6.8%)の減収となりました。営業利益は、ナフサ等の原燃料価格下落による影響が販売価格下落の影響を上回ることによって交易条件が改善し、878億円と前期に比べ62億円(7.5%)の増益となりました。経常利益は、円安進行により為替差益に転じたことにより、951億円と前期に比べ92億円(10.7%)の増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、633億円と前期に比べ77億円(13.9%)の増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

石 油 化 学 事 業

プロピレン及びキュメンは、生産量の減少などに伴い出荷が減少いたしました。また、ナフサ等の原燃料価格及び海外製品市況の下落により、製品価格が下落いたしました。

ポリエチレン樹脂は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う需要減少により、国内輸出ともに出荷が減少いたしました。また、ナフサ価格の下落を反映して製品価格が下落いたしました。クロロブレンゴムは、アジア地域の需要回復に伴い出荷が増加しましたが、輸出価格は下落いたしました。

この結果、売上高は、前期に比べ278億円(17.4%)減少し1,314億円となり、営業利益は、交易条件の悪化やナフサ等原料価格下落による製品受払差の悪化により、前期に比べ26億円(25.2%)減少し77億円となりました。

ク ロ ル ・ ア ル カ リ 事 業

苛性ソーダは、海外市況の下落を反映し製品価格が下落いたしました。塩化ビニルモノマーは、生産量の増加に伴い出荷が増加いたしました。塩化ビニル樹脂は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う需要減少により、国内輸出ともに出荷が減少いたしました。

セメントは、国内輸出ともに需要が低調に推移し出荷が減少いたしました。

ジフェニルメタンジイソシアネート(MD I)は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う需要減少などにより、国内輸出ともに出荷が減少いたしました。

この結果、売上高は前期に比べ225億円(7.6%)減少し2,749億円となりましたが、営業利益は、塩ビ製品やウレタン原料の交易条件の改善により、前期に比べ133億円(47.2%)増加し415億円となりました。

機 能 商 品 事 業

エチレンアミンは、ほぼ前期並みの出荷となりました。

計測関連商品は、欧米向けを中心に液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が増加いたしました。診断関連商品は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う需要減少により、欧米及び中国向けで体外診断用医薬品の出荷が減少いたしました。

ハイシリカゼオライトは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う需要減少により、自動車排ガス触媒用途を中心に出荷が減少いたしました。ジルコニアは、装飾品用途での出荷が増加いたしました。石英ガラスは、堅調な半導体市場に支えられ出荷が増加いたしました。電解二酸化マンガンは、国内輸出ともに乾電池用途を中心に出荷が増加いたしました。

この結果、売上高は、前期に比べ44億円(2.4%)減少し1,806億円となり、営業利益は、販売数量の減少に加え、固定費が増加したことなどにより、前期に比べ43億円(15.6%)減少し235億円となりました。

エ ン ジ ニ ア リ ン グ 事 業

水処理エンジニアリング事業では、電子産業分野において国内大型案件が順調に進捗したことや海外で大型の設備投資が続いたことに加え、メンテナンス等のソリューションサービスが堅調に推移したことにより、売上高は増加いたしました。

建設子会社の売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は、前期に比べ47億円(4.6%)増加し1,062億円となりましたが、営業利益は、水処理エンジニアリング事業の電子産業分野において比較的採算性の良い案件が前期に集中したことの影響などにより、前期に比べ8億円(5.9%)減少し120億円となりました。

そ の 他 事 業

商社等その他事業会社の売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は前期に比べ32億円(7.5%)減少し398億円となりましたが、営業利益は前期に比べ5億円(21.1%)増加し31億円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加等により、前期末に比べ962億円増加し9,828億円となりました。

負債は、短期借入金、未払法人税等の増加等により、前期末に比べ442億円増加し3,211億円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により、前期末に比べ520億円増加し6,617億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

現金及び現金同等物は、前期末に比べ512億円増加し、1,484億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、951億円の収入となりました。売上債権の増加等により、前期に比べ48億円収入が減少いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、464億円の支出となりました。固定資産の取得による支出額の減少等により、前期に比べ240億円支出が減少いたしました。

この結果、フリー・キャッシュ・フローは前期に比べ192億円収入が増加し、488億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、16億円の収入となりました。短期借入金の純増減額の増加等により、前期に比べ255億円支出が減少いたしました。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は、ワクチン接種の順調な進展を前提に、欧米、アジア各国の経済が本格的に回復するとの観測が多く、株式市場や金利情勢などにも景気回復に対する期待が織り込まれている様子が窺えます。しかしながら、コロナ禍については国内外で感染力の高い変異種が広がっていることから、想定よりも収束に時間を要する可能性があり、また、米中摩擦の深刻化や過熱気味の金融市場の混乱など、国内・海外経済の腰折れ懸念は拭いきれず、景気の先行きは依然見通しづらい状況となっております。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、国内外のコロナ禍収束状況や米中摩擦の行方等はもとより、国際政治情勢を含め様々な要因により変動する原燃料価格や海外製品市況、為替レートの動向に注意を払う必要があり、引き続き事業環境の変化に対して迅速かつ柔軟に対応することで、収益確保に努めて参ります。

2022年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は8,000億円、営業利益は930億円、経常利益は920億円、親会社株主に帰属する当期純利益は600億円と予想しております。業績予想における前提条件につきましては、国産ナフサ価格45,000円/KL、為替レートを105円/US\$としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当面は日本基準を継続することとしております。なお、国際会計基準（IFRS）については、将来の適用に備えた準備・検討を適宜進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	98,822	149,165
受取手形及び売掛金	197,917	225,459
リース投資資産	11,752	9,773
商品及び製品	103,972	95,455
仕掛品	9,478	13,638
原材料及び貯蔵品	46,134	46,471
その他	14,657	13,202
貸倒引当金	△656	△648
流動資産合計	482,079	552,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	86,617	91,497
機械装置及び運搬具（純額）	103,052	111,397
土地	72,025	71,436
建設仮勘定	32,023	28,748
その他（純額）	11,683	12,386
有形固定資産合計	305,402	315,466
無形固定資産	4,454	4,673
投資その他の資産		
投資有価証券	52,235	62,576
長期貸付金	507	813
長期前払費用	5,840	6,660
繰延税金資産	11,693	7,149
退職給付に係る資産	19,057	27,387
その他	6,015	6,246
貸倒引当金	△695	△715
投資その他の資産合計	94,655	110,118
固定資産合計	404,512	430,258
資産合計	886,591	982,776

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	84,585	91,377
短期借入金	68,840	99,840
未払法人税等	9,082	23,478
賞与引当金	8,498	8,674
その他の引当金	5,159	2,199
その他	44,056	38,050
流動負債合計	220,223	263,620
固定負債		
長期借入金	27,018	26,685
繰延税金負債	1,437	2,510
役員退職慰労引当金	362	385
事業整理損失引当金	49	30
その他の引当金	1,223	2,427
退職給付に係る負債	20,988	20,582
その他	5,629	4,854
固定負債合計	56,708	57,476
負債合計	276,931	321,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,173	55,173
資本剰余金	45,160	45,096
利益剰余金	468,085	513,338
自己株式	△237	△10,104
株主資本合計	568,182	603,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,997	12,750
為替換算調整勘定	△5,223	△5,852
退職給付に係る調整累計額	△409	5,167
その他の包括利益累計額合計	△636	12,066
新株予約権	270	213
非支配株主持分	41,843	45,895
純資産合計	609,660	661,679
負債純資産合計	886,591	982,776

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	786,083	732,850
売上原価	584,836	528,462
売上総利益	201,246	204,387
販売費及び一般管理費	119,588	116,568
営業利益	81,658	87,819
営業外収益		
受取利息	418	378
受取配当金	1,597	1,399
為替差益	—	3,688
持分法による投資利益	1,343	1,271
固定資産賃貸料	369	366
受取保険金	4,291	281
その他	2,317	2,137
営業外収益合計	10,338	9,522
営業外費用		
支払利息	1,179	1,335
為替差損	3,315	—
工場閉鎖費用	—	132
P C B 処理費用	765	13
その他	771	723
営業外費用合計	6,032	2,204
経常利益	85,963	95,138
特別利益		
固定資産売却益	47	55
投資有価証券売却益	214	3,094
特別利益合計	261	3,149
特別損失		
固定資産売却損	39	795
固定資産除却損	2,252	2,306
投資有価証券評価損	50	91
減損損失	232	32
特別損失合計	2,575	3,225
税金等調整前当期純利益	83,649	95,061
法人税、住民税及び事業税	24,029	27,649
法人税等調整額	△340	△453
法人税等合計	23,689	27,196
当期純利益	59,960	67,865
非支配株主に帰属する当期純利益	4,410	4,589
親会社株主に帰属する当期純利益	55,550	63,276

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	59,960	67,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,853	7,769
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△839	△835
退職給付に係る調整額	△3,072	5,820
持分法適用会社に対する持分相当額	△185	213
その他の包括利益合計	△10,949	12,968
包括利益	49,011	80,834
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	44,698	75,978
非支配株主に係る包括利益	4,312	4,855

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	55,173	45,041	430,733	△327	530,620
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		119			119
剰余金の配当			△18,189		△18,189
親会社株主に帰属する当期純利益			55,550		55,550
自己株式の取得				△10	△10
持分率変動による自己株式の増減				0	0
自己株式の処分			△8	100	91
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	119	37,352	90	37,562
当期末残高	55,173	45,160	468,085	△237	568,182

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	11,853	△0	△4,276	2,639	10,216	297	38,367	579,501
当期変動額								
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								119
剰余金の配当								△18,189
親会社株主に帰属する当期純利益								55,550
自己株式の取得								△10
持分率変動による自己株式の増減								0
自己株式の処分								91
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△6,855	0	△947	△3,049	△10,852	△27	3,476	△7,403
当期変動額合計	△6,855	0	△947	△3,049	△10,852	△27	3,476	30,158
当期末残高	4,997	—	△5,223	△409	△636	270	41,843	609,660

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	55,173	45,160	468,085	△237	568,182
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△63			△63
連結子会社の決算期変更に伴う増減			12		12
剰余金の配当			△18,005		△18,005
親会社株主に帰属する当期純利益			63,276		63,276
自己株式の取得				△10,012	△10,012
持分率変動による自己株式の増減				△0	△0
自己株式の処分			△30	146	116
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△63	45,252	△9,867	35,321
当期末残高	55,173	45,096	513,338	△10,104	603,504

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	4,997	△5,223	△409	△636	270	41,843	609,660
当期変動額							
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							△63
連結子会社の決算期変更に伴う増減							12
剰余金の配当							△18,005
親会社株主に帰属する当期純利益							63,276
自己株式の取得							△10,012
持分率変動による自己株式の増減							△0
自己株式の処分							116
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7,753	△628	5,577	12,702	△56	4,051	16,697
当期変動額合計	7,753	△628	5,577	12,702	△56	4,051	52,019
当期末残高	12,750	△5,852	5,167	12,066	213	45,895	661,679

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	83,649	95,061
減価償却費	34,899	40,462
減損損失	232	32
退職給付に係る資産負債の増減額	△703	△363
受取利息及び受取配当金	△2,015	△1,778
支払利息	1,179	1,335
為替差損益 (△は益)	66	△632
持分法による投資損益 (△は益)	△1,343	△1,271
投資有価証券評価損益 (△は益)	50	91
固定資産売却損益 (△は益)	△7	739
固定資産除却損	2,252	2,306
売上債権の増減額 (△は増加)	28,630	△27,843
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,649	3,393
仕入債務の増減額 (△は減少)	△20,380	6,964
その他	12,254	△10,925
小計	129,116	107,571
利息及び配当金の受取額	2,412	2,222
利息の支払額	△1,216	△1,346
法人税等の支払額	△30,387	△13,341
営業活動によるキャッシュ・フロー	99,923	95,106
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△62,402	△50,151
固定資産の売却による収入	328	929
投資有価証券の取得による支出	△4,976	△317
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,124	4,910
貸付けによる支出	△2,494	△4,998
貸付金の回収による収入	2,357	4,725
その他	△4,272	△1,450
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,335	△46,352
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,954	32,998
長期借入れによる収入	8,801	12,202
長期借入金の返済による支出	△16,728	△14,304
自己株式の取得による支出	△6	△10,044
配当金の支払額	△18,164	△17,979
非支配株主への配当金の支払額	△630	△738
その他	△189	△548
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,964	1,585
現金及び現金同等物に係る換算差額	△483	836
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,140	51,176
現金及び現金同等物の期首残高	92,094	97,235
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△13
現金及び現金同等物の期末残高	97,235	148,397

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年5月12日の取締役会決議に基づき、自己株式6,778,600株の取得を行っております。

この結果、当連結会計年度において自己株式が9,999百万円増加し、当該自己株式の取得等により、当連結会計年度末において自己株式が10,104百万円となっております。

(連結貸借対照表関係)

	(前連結会計年度)	(当連結会計年度)
有形固定資産の減価償却累計額	939,435百万円	961,582百万円

(連結株主資本等変動計算書関係)

配当に関する事項

基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2021年5月11日 取締役会	普通株式	利益剰余金	10,181	32	2021年3月31日	2021年6月4日

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行っている対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業セクターを置き、各事業セクターは取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業セクターを基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「石油化学」、「クロル・アルカリ」、「機能商品」、「エンジニアリング」の4つの報告セグメントとしております。

「石油化学」は、エチレン・プロピレン等オレフィン製品、低密度ポリエチレン、高密度ポリエチレン及び樹脂加工製品、機能性ポリマー等の製造販売をしております。「クロル・アルカリ」は、苛性ソーダ、塩化ビニルモノマー、塩化ビニル樹脂、無機・有機化学品、セメント、ウレタン原料等の製造販売をしております。「機能商品」は、無機・有機ファイン製品、計測・診断商品、電子材料（石英ガラス、スパッタリングターゲット）、機能材料等の製造販売をしております。「エンジニアリング」は水処理装置の製造販売及び建設・修繕等の事業を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	計	調整額	連結財務諸表計上額
	石油化学	クロル・アルカリ	機能商品	エンジニアリング				
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	159,140	297,356	185,042	101,496	43,047	786,083	—	786,083
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	84,424	28,611	12,606	19,598	58,288	203,529	△203,529	—
計	243,564	325,967	197,648	121,095	101,336	989,612	△203,529	786,083
セグメント利益	10,299	28,198	27,885	12,740	2,534	81,658	—	81,658
セグメント資産	127,634	263,342	242,698	119,718	42,648	796,042	90,549	886,591
その他の項目								
減価償却費	3,750	11,677	12,838	1,246	1,720	31,233	824	32,057
のれんの償却額	—	—	—	23	—	23	—	23
持分法適用会社への投資額	1,013	9,575	4,813	2,522	1,518	19,444	—	19,444
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	11,600	19,396	18,944	1,321	9,116	60,379	755	61,134

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 セグメント資産の合計額は、連結貸借対照表の資産合計と一致しております。

4 セグメント資産の調整額90,549百万円の主なものは、親会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	計	調整額	連結財務諸表計上額
	石油化学	クロル・アルカリ	機能商品	エンジニアリング				
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	131,386	274,862	180,593	106,207	39,801	732,850	—	732,850
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	67,636	26,233	12,720	17,844	58,375	182,811	△182,811	—
計	199,023	301,096	193,314	124,052	98,176	915,662	△182,811	732,850
セグメント利益	7,703	41,519	23,538	11,988	3,069	87,819	—	87,819
セグメント資産	134,957	282,199	248,639	136,354	47,946	850,097	132,679	982,776
その他の項目								
減価償却費	5,144	12,323	15,506	1,259	2,371	36,605	929	37,534
持分法適用会社への投資額	1,012	9,978	5,287	2,622	1,592	20,492	—	20,492
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	9,574	15,153	16,176	1,312	6,842	49,059	1,567	50,627

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 セグメント資産の合計額は、連結貸借対照表の資産合計と一致しております。

4 セグメント資産の調整額132,679百万円の主なものは、親会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア		その他地域	計
	中国	その他		
430,458	105,516	146,320	103,787	786,083

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	その他地域	計
271,922	33,479	305,402

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア		その他地域	計
	中国	その他		
399,432	102,241	144,328	86,849	732,850

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	その他地域	計
281,264	34,201	315,466

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	計	全社・ 消去	連結財 務諸表 計上額
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
減損損失	2	226	3	—	—	232	—	232

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	計	全社・ 消去	連結財 務諸表 計上額
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
減損損失	5	21	5	—	0	32	—	32

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	計	全社・ 消去	連結財 務諸表 計上額
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
のれん未償却残高	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
1株当たり純資産額	1,747.19 円	1株当たり純資産額	1,934.86 円
1株当たり当期純利益	171.03 円	1株当たり当期純利益	197.89 円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	170.88 円	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	197.75 円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	55,550	63,276
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	55,550	63,276
普通株式の期中平均株式数(千株)	324,805	319,751
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	281	225
(うち新株予約権(千株))	(281)	(225)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

4. 役員 の 異 動

[2021年5月11日取締役会]

1. 取締役・監査役の異動 [2021年6月25日付]

(1) 新任取締役候補

上席執行役員 どい とおる
土井 亨

(2) 新任監査役（常勤・社外）候補

おかやま まこと
岡山 誠（日本インベスター・ソリューション・アンド・テクノロジー株式
会社 代表取締役社長）

(3) 退任取締役

取締役 やまだ まさゆき
山田 正幸

(4) 退任監査役

監査役 いとう すけひろ
伊東 祐弘

2. 執行役員の異動 [2021年5月11日付]

(1) 新任執行役員

かきもと しんじ
柿本 眞司

3. 執行役員の異動 [2021年6月25日付]

(1) 新任執行役員候補

のむら まさき
野村 正樹

たかとう しゅうじ
高東 修二

きうち たかふみ
木内 孝文

たかの あきら
高野 玲

まつしま そうすけ
松島 聡介

(2) 退任執行役員

常務執行役員 やまだ まさゆき
山田 正幸

上席執行役員 くどう まさゆき
工藤 雅之

執行役員 しのはら しゅんや
篠原 俊哉

執行役員 かきもと しんじ
柿本 眞司

なお、篠原俊哉氏は東ソー・ハイテック株式会社 取締役社長に6月下旬就任予定。

5. 補足情報

2020年度連結決算概要

2021年5月11日

東ソー株式会社

(1)業績

(単位:億円)

	2019年度	2020年度	増 減	2021年度(予想)
売 上 高	7,861	7,329	△ 532	8,000
営 業 利 益	817	878	62	930
経 常 利 益	860	951	92	920
親会社株主に帰属する 当期純利益	556	633	77	600
1株当たり当期純利益	171円03銭	197円89銭	26円86銭	188円59銭

(2)指標

	2019年度	2020年度	増 減	2021年度(予想)
為替[TTM期中平均](円/\$)	108.7	106.1	△ 2.6	105.0
為替[TTM期中平均](円/EUR)	120.8	123.8	2.9	125.0
国産ナフサ価格(円/KL)	42,925	31,200	△ 11,725	45,000

設 備 投 資 額	611	506	△ 105	410
減 価 償 却 費	321	375	55	390
研 究 開 発 費	182	195	12	210
期 末 有 利 子 負 債	959	1,265	307	920
金 融 収 支	8	4	△ 4	4
自 己 資 本 比 率 (%)	64.0	62.6	△ 1.4	66.0
期 末 従 業 員 数 (人)	13,336	13,631	295	14,000

(注)億円未満は四捨五入

(3)トピックス

- 2020年 7月 ナフサ分解炉効率化及びガスタービンの設置
(ガスタービンは2019年2月先行稼働)
- 2021年 夏 予定 クロロプレンゴム(CR)の生産能力を増強
- 2023年 冬 予定 臭素の生産能力を増強

(4) 事業セグメント別増減内訳

(単位:億円)

		2019年度	2020年度	増 減	増 減 要 因			
					数量差	価格差	交易条件	固定費差他
石油化学	売上高	1,591	1,314	△ 278	△ 15	△ 262	—	—
	営業利益	103	77	△ 26	2	—	△ 5	△ 23
クロル・アルカリ	売上高	2,974	2,749	△ 225	△ 110	△ 115	—	—
	営業利益	282	415	133	△ 22	—	175	△ 20
機能商品	売上高	1,850	1,806	△ 44	△ 1	△ 44	—	—
	営業利益	279	235	△ 43	△ 11	—	17	△ 50
エンジニアリング	売上高	1,015	1,062	47	45	3	—	—
	営業利益	127	120	△ 8	△ 8	—	0	0
その他	売上高	430	398	△ 32	△ 22	△ 11	—	—
	営業利益	25	31	5	5	—	1	0
合計	売上高	7,861	7,329	△ 532	△ 103	△ 429	—	—
	営業利益	817	878	62	△ 33	—	188	△ 93

(注) 億円未満は四捨五入

(5) 業績予想

(単位:億円)

		2020年度	2021年度(予想)	増 減	2021年度(予想) 内訳	
					上期	下期
石油化学	売上高	1,314	1,482	168	764	718
	営業利益	77	103	26	57	46
クロル・アルカリ	売上高	2,749	3,015	267	1,518	1,497
	営業利益	415	415	0	228	187
機能商品	売上高	1,806	2,084	278	1,025	1,059
	営業利益	235	287	51	138	149
エンジニアリング	売上高	1,062	1,080	18	525	555
	営業利益	120	101	△ 19	37	65
その他	売上高	398	339	△ 59	168	171
	営業利益	31	24	△ 7	11	13
合計	売上高	7,329	8,000	671	4,000	4,000
	営業利益	878	930	52	470	460

(注) 億円未満は四捨五入